

**令和5年度第2回
テクノプラザものづくり支援センター指定管理評価員会議 結果概要**

○日 時：令和6年2月28日（水）

○場 所：岐阜県科学技術振興センター 第1会議室

1 令和6年度事業計画書について

【指定管理者】説明

2 主な質疑応答

【評価員】（公財）ソフトピアジャパンとのすみ分けや連携はどのように考えているか。

【指定管理者】テクノプラザは製造業のDXを目的としている。また、西濃地域はソフトピア、各務原・中濃地域はテクノプラザといった地域的なすみ分けも考えている。ソフトピアは距離的に遠いという声があったため、そのようなニーズを汲んでいきたい。

【評価員】研修を受けたことによる、サティフィケート（受講証）などは考えているか。

【指定管理者】産業用ロボット研修では、産業用ロボットを触る際に必要な資格（教示）が得られる。ものづくりDX・リスクリング研修では、ファクトリーサイエンティストの修了証が得られる。

【評価員】テクノプラザ感謝デーについて、（地域住民が来場するための）仕掛けは何か考えているか。

【指定管理者】地域の自治会が実施する年中行事等で利用する際に、無料で使用してもらうことを想定している。

【評価員】（オープンファクトリーについて）参加する企業等はある程度決まっているのか。また、テクノプラザ以外の市内や県内企業との連携は考えているか。

【指定管理者】まだ数社であるが、出てみたいという声はある。外部との連携については将来的には考えている。立地企業でもテクノプラザ外に事務所を構える企業もいるため、テクノプラザをメイン会場としながら、サテライト会場という形での開催も良い。テクノプラザはメイン会場ということで、キッチンカー等を出店して、レジャーとして楽しめるような形にすることを考えている。

【評価員】事業計画者に高校等との連携についての記載があるが、大学との連携についての今後の展望を教えてください。

【指定管理者】大学等とも是非連携させていただきたいと考えている。企業からは、新卒者が欲しいという声が非常に強いため、岐阜大学とも連携して、地元企業への就職を斡旋してもらえるとありがたいと考えている。指定管理者としても企業への人材輩出には特に力を入れていきたいと考えているので、共同研究等、ご協力をお願いしたい。

3 講評

- ・今までバラバラで運営されていた施設を一体的に管理することで、使いやすい施設となるが、アクセスの問題等も抱えているため、是非頑張ってください。また、ソフトピアでは岐阜県DX推進コンソーシアムという形でDXの推進の取り組みをしているため、こういったところとも是非連携してほしい。
- ・（企業の）人材確保が難しいといった状況の中で、テクノプラザものづくり支援センターは1年目ということで、初年度が大事であると思うので、市としても全力でサポートしていきたい。
- ・人材確保に関しては、中小企業は非常に困っている。市内や県内の企業との横のつながりが非常に大事になってくると思うので、企業に対して色々投げかけてほしいので、（取組について）積極的に発信してもらえればと思う。
- ・最初のスタートダッシュが大事だと思うので、ここを活用するメリットや効果を最初にどれくらい見せられるかということに、是非注力してもらえればと思う。ものづくり産業の支援スキームとして、産業経済振興センターの方とも連携するということが、大学でもセンターとの連携を行っており、岐阜大学の学生や卒業生も頑張っている人がたくさんいるので、うまく活用してほしい。

4 評価結果

令和6年度テクノプラザものづくり支援センター指定管理業務に係る事業計画は適当であると認める。